

“めざそう笑顔のまちづくり”

とんぼんまわると

合併特大号

平成23年2月15日

発行 NO.58

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 佐藤仁一郎

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」

祝・成人

1月9日(日) 三本木庁舎ふれあいホールを会場に、平成23年三本木地域成人式が行われました。

65名の新成人を代表して滝田さんが記念品の贈呈を受け、同じく新成人の小林さんと佐々木さんが、誓いの言葉を読み上げました。

この日、久しぶりに会った同級生たちの会話は、最後の記念写真を終えても会場で続いています。

おめでとうございます。



新成人代表者に聞きました「5年後の夢と理想の大人像」は…

2011年開催、成人式の新成人実行委員メンバーのみなさんです。
さんねっと編集部からみなさんに「5年後の夢と理想の大人像」について聞いてみました。



小林 達也

新成人として迎える今年は、一社会人である立場を自覚し、過失に責任を取るのと同様夢の実現に責任を取る勇気を持ち、高みに向かって努力を続ける所存であります。また“二兎を追うものは一兎を得ず”の気持ちで欲を張りすぎず精進して参ります。昨年同様ご指導の程をお願い申し上げます。



瀬木 静香

私は今の仕事をちゃんと続け上達出来れば嬉しいです。そして焦らずゆっくり色々な出来事を覚えていけたらいいと思います。

まだ新米で失敗してばかりなので目上の人たちや大人の人みたいになれば良いと思います。何事にもはきはき言える大人になりたいです。



早坂 寛利

私の5年後は、今勤めている会社で数多くのことを学び、会社でエースと呼ばれるような人になることです。

理想の大人像は、どんなことでも間違ったことは間違ったことと言えるようになることと、自分で始めたことは、最後までやりきることを目標にやっていきたい。今はまだまだ未熟ですが、もっと数多くのことを学んでいきたいと思います。

目指せ！ 一流の社会人！！

石川 裕太

これからの目標としては、まず自分の夢である理学療法士になることです。そして、今までは親に甘える部分も数多くありましたが、これからは、「社会人としての自覚」、そして、「責任感」をしっかりと持って少しずつ自立していき、自分の夢を叶えたいです。

理想の大人像は、このようなことがしっかりできた上で、信頼されるような人である、自分の親を目標に頑張っていきたいです。

2011年に向かう...



加藤 めぐみ

成人式を無事に迎えることができました。新たに成人を迎え社会の一員として、社会貢献をしていかななくてはならない立場となります。

三月学校を卒業後、四月から将来の「夢」だった道へ進むことになり、今までとは異なる大人としての自立と責任の重さを強く心に受け止めています。

今後は、学びの社会人として成長していけるよう日々努力して頑張っていきたいと思ひます。

嶋田 幸

成人式の事前打ち合わせ、準備などで意見の違いがあり、何度も試行錯誤するなど大変なことも多々ありましたが、皆で協力し合い、無事成人式を終えることができました。

これからは一人の大人として、自分の意志をしっかりと持ち、責任感ある行動を心がけたいと思ひます。

最後になりましたが、私達の成人式の為にご尽力くださいました皆さんに実行委員の一人として心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

滝田 真世

成人式の実行委員を務めさせていただいた滝田真世です。といっても私は不器用なので裏方の仕事は苦手であり協力できず力不足を感じました。名ばかりでなく実まで大人になるにはまだ早いと感じつつ、こんなときそつなく仕事をこなせるのが理想的な大人なのかと思ひました。

こんな私の夢ですが“就職”です。就職氷河期はとてもつらいです。とにかく成人式が無事に終わり安心してあります。協力して下さった皆様ありがとうございました。



1月22日(土)館山ホールで、「さんぼんぎまるごと新年祝賀会」が、127名の参加で開催されました。

今年は、三中吹奏楽部のオープニング演奏に始まり、第1部では、熊谷涉さん(三本木出身)と梅村広明さん(横須賀市出身)のアコースティックギターユニット『WATARU THE DUO』によるアコースティックライブが行われ、第二部の祝賀会では、ひまわりハーモニカ・三本木フラサークルの発表に花を添えていただきました。

終始和やかな雰囲気で行われ、多くの方から「この会はいいね!」「毎年月日を決めてほしい」などご意見をいただきました。



2011.1.22 三本木まるごと新年祝賀会

市議会議員 相澤久義

三本木地域の実現

市道が未舗装(昭和40年代)の頃、地区民が総出で道路普請(ふしん)を行い地区の道路は区民の力で、維持補修してきましたが、市道が舗装整備され、地区民総出の道路普請の姿は消え、町・市に道路維持補修は委ねてきました。

少子高齢化・人口減・リーマンショック以降の経済不況、右肩上がりから右肩下がりへと、社会情勢は大きく変わりました。今こそ道路普請の精神を見習い、隣組・地区・地域が一丸となって事を起こすことが求められています。みんなで力合わせを頑張りましょう。

市議会議員 斎藤博

昨年は旧三本木の愉快でない話題が多かったと思います。本年はその課題解消に全力を尽くします。また総合支所、本庁の皆さんにも問題意識を共有して貰う必要があります。

皆さん一人ひとりの正面からの意見で三本木全体、市民皆さんが一つでも多く「しあわせ」を実感できる一年にして行きたい。年頭にあたり心に念じております。

